

京 都 大 学

國文學論叢

第 5 号



室町時代物語『仏鬼軍』について……………本井 牧子 (一)
 — 新出本の紹介を兼ねて —

梁田蛻巖の「九日」詩……………中島 貴奈 (二〇)

牛鬼蛇神の詩……………福井 辰彦 (三六)

— 宮崎晴瀾とその周辺 —

『浅間嶽面影草紙』論……………本多 朱里 (五三)

— 京伝読本との関係から —

伊勢物語と伊勢物語歌の理解……………鈴木 隆司 (七三)

— 新古今集・新勅撰集における作者の問題 —



〈編集後記〉

『京都大学国文学論叢』もお陰様をもちまして第五号を迎えることとなりました。創刊以来、御指導御鞭撻を賜りました諸先生方に深謝申し上げます。今後とも一層研鑽してゆく所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

本号は、中古、中世文学各一本、近世文学二本、近代文学一本と各時代に亘る内容となりました。新出資料を紹介した本井稿は、一九九九年秋に開催された京都大学付属図書館公開展示会の調査を踏まえたものです。なお、同展示会における成果をもとに、研究室より、叢書『京都大学蔵むろまちものがたり』を刊行しております。

(長谷川)

平成十二年十一月二十五日 印刷
平成十二年十一月三十日 発行

編集発行者

千六〇六一八五〇一

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院国文学研究科国語学

国文学研究室「国文学論叢」編集部

電話 〇七五―七五三―二八二四

印刷者

京都市下京区室町通り仏光寺上る

亜細亜印刷株式会社

※表紙題字『易林本節用集』より

(京都大学文学部蔵慶長板)